

富士山が綺麗に見える山へ。そうだ！500円札の山へ行こう！！…の前に500円札って？どんなお札？？実物を見せていただき、この山へ行く価値を倍増させる。

富士山見物日和の晴れ。大峠に到着すると既に駐車場は車で溢れている。まずは日本一長い名前という牛奥ノ雁ヶ腹摺山へ。霜柱が綺麗な道だが、途中からここも台風の影響だろうか。倒木が多く、障害物走と言いながら潜ったり、跨いだり、跨いだり。股関節外旋を必要とする。黒岳は展望なくさらりと目指すべき牛奥ノ雁ヶ腹摺山へ。とってもとってもしきれいな富士山を拝めることができた。雪化粧した富士は、やはり大きい。その手前の三つ峠・滝子山が、富士をさらに大きく見せるように構えている。南アもしっかり見えて、白根三山にも雪化粧を確認。

大峠まで戻って車を見ないようにしながら、雁ヶ腹摺山へ。午後になると朝とはまた違う富士の顔。500円札を出して同じ画であることを確認。絶景を楽しんでから休憩していると、いつの間にか富士には雲がかかった。まにあってよかった。アップダウンを繰り返す山行だったが、おしゃべり山行。天目山温泉に浸かり体ぼかぼかとなり帰路についた。

【コースタイム】

7:20大峠P 発—8:30黒岳—9:50牛奥ノ雁ヶ腹摺山～10:10発—12:00大峠～12:20発—13:05雁ヶ腹摺山 13:50発—14:30大峠P

